



京都大学技術士会

第18回講演会

(イブニングセミナー東京)

地盤にまつわる事故事例の法的分析と事故防止への提言 ～熱海土石流災害を教訓とした建設発生土に関する 法的規制と実務上の課題～

日時：令和6年4月24日(水) 17:00～18:10(会場受付開始16:30)

会場：京都大学東京オフィス 大会議室A・B
及び、オンライン講演会

主催：京都大学技術士会

後援：公益社団法人 日本技術士会

※本講演会はどなたでも
ご参加いただけます。

※本講演会は、会場開催
とオンライン開催の同時
開催となります。

講師：江副 哲 様

弁護士法人One Asia 大阪オフィス代表パートナー

弁護士・技術士(建設部門)

京都大学技術士会 正会員

経歴 京都大学で大学院まで土木工学を専攻し修了、鴻池組で土木技術者として土木工事の施工管理や設計に従事した実績をもとに技術士(建設部門)の資格を取得。京都大学法科大学院で一から法律を学び、司法試験合格後、大阪弁護士会に弁護士登録。弁護士兼技術士として、ゼネコン等の建設関係企業の代理人として数々の建設紛争案件に携わるだけでなく、建設業界向けの講演を数多く実施、また国土交通省の各種委員会の委員も務め、書籍「建設現場のトラブル相談」や、日経コンストラクションで「土木の法務解説」の連載を執筆する等、建設業界の健全な発展に貢献すべく活動を行っている。

講演内容：

2021年7月に熱海で起きた土石流災害で顕在化した違法盛土の問題について、法的規制が不十分であることがわかり、隙間のない規制、盛土等の安全性確保、責任の所在の明確化、実効性のある罰則の措置を念頭に盛土規制法が制定された。そこで、これらの法的規制の解説を踏まえて、熱海での事故も含め従前から生じている地盤事故の事例紹介と、リサイクルの観点も踏まえた建設発生土に関する実務上の課題について考察の上、地盤事故防止策について提言する。

参加人数：会場参加 50名程度、

オンライン参加 Zoom90名、YouTube人数制限なし

参加費：会場2000円、懇親会2000円、オンライン無料

・講演会終了後、同会場にて簡単な懇親会を行いますので、ふるってご参加ください。

・会場参加費、懇親会費は当日、受付にてお支払いください。

講演会会場：京都大学 東京オフィス 大会議室

(新丸の内ビルディング10F)

JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」直結



申込み方法(インターネットで申込みをお願いします)

・京都大学技術士会のホームページ <http://ku-pe.net/> の「講演会・交流会のご案内」から申込みください。